

令和5年度

**春季入学（令和5年4月入学）
高知工科大学大学院工学研究科**

学 生 募 集 要 項

< 一 般 選 拔 >

< 社 会 人 特 別 選 拔 >

< 長 期 履 修 プ ロ グ ラ ム >

**修 士 課 程
博 士 後 期 課 程**



高知工科大学
KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

アドミッション・ポリシー ～入学者受入れの方針～

高知工科大学は「大学のあるべき姿を常に追求し、世界一流の大学を目指す」ことを目標として掲げています。この目標に賛同し、来るべき社会に活躍できる高度技術者・高度研究者になるという強い意志と情熱を持ち、勉学意欲のある人を求めます。

【修士課程】

大学院工学研究科博士前期課程（修士課程）は、専門知識を特化させる機会を提供し、自ら目的を達成する実践的力量や応用力を重視し、独創性、自己表現力とともに多様性を許容する柔軟な資質を養い、高度な専門的職業人を養成することを目的としております。本課程には12の履修コースがあり、各コースの教育の理念・目標を理解するとともに、その技術分野への高い関心と志望動機・目的意識をもち、修士の学位を修めることのできる基礎学力と研究力を有していると認められる人の入学を希望しています。

入学者選抜では、口頭試問を含む面接試験と提出された書類から学修を希望する専門分野の基礎学力と論理的な思考能力、目的意識、研究力等を総合的に評価します。

【博士後期課程】

大学院工学研究科博士後期課程（博士課程）は、資質を高度化・専門化し、自ら問題を発掘しそれを解決する高度な能力を備え、また研究者としての考究力を身に付け、課程での研究課題に限定されない未知の分野へ挑戦する意欲的な人材を養成することを目的としております。本課程には3つの履修コースがあり、各コースの教育の理念・目標を理解するとともに、その技術分野への高い関心と志望動機・目的意識をもち、博士の学位を修めることのできる専門的な学力と高度な研究力を有していると認められる人の入学を希望しています。

入学者選抜では、口頭試問を含む面接試験と提出された書類から学修を希望する専門分野の高次な知識と論理的な思考能力、目的意識、高度な研究力等を総合的に評価します。

カリキュラム・ポリシー ～教育課程編成・実施の方針～

【修士課程】

修士課程においては、学士課程の教育を発展させ、より高度な専門的知識と論理的思考力、客観的洞察力を修得させることを重視した教育課程を編成します。

専門分野に偏ることなく、物事を多様な観点から捉えることのできる広い視野を持った人材を育成するため、修士課程は、工学研究科基盤工学専攻の1研究科1専攻のみを設置しています。

学生は、専門分野毎に設定されたコースに所属し、各コースの教育プログラムによって科目履修と研究を進め、さらに他コースが提供する科目の履修も可能です。

一人の学生に対し、主指導教員1名と副指導教員1名が連携して履修と研究を指導します。また、研究指導とE-learningプログラムによる研究倫理教育を通じて、高い倫理観を養います。

○カリキュラムの構成

科目は、「共通科目」、「専門領域科目」、「研究領域科目」に分類しています。

(1) 共通科目

数学、英語など、専門分野を学ぶうえで基礎となる数理科学の知識修得や、国際社会で活躍するために必要な知識や情報発信力を育む科目群を提供しています。

(2) 専門領域科目

学士課程の教育を発展させた各分野の高度な専門知識から最先端の技術や研究成果までを体系的に学ぶ科目群を提供しています。

(3) 研究領域科目

必修科目としての「特別研究」をはじめとして、セミナーや演習を中心に課題解決に必要な実践力や応用力を養成する科目群を提供しています。

○学修成果の評価

学位論文は、明確な審査基準を示すとともに、複数の審査員による公開論文審査を実施することにより、公平性・厳格性を担保しています。

◆各コースのカリキュラム・ポリシー

● 知能機械工学コース

- ・メカトロニクス、ロボティクスに関する専門力を伸ばすことに主眼をおいた科目を提供します。
- ・研究活動を通じて高い専門力と、境界領域にも対応できる応用力を身に付けます。

● 航空宇宙工学コース

- ・航空宇宙工学における高度な知識の修得に係る科目を提供します。
- ・研究活動では、論理的思考力や課題の設定・解決能力の涵養を重視します。

● エネルギー工学コース

- ・次世代エネルギーに関する先端的な研究成果や技術課題を学ぶ科目を提供します。
- ・特別研究では、機械工学あるいは電気工学分野のエネルギー技術について深く学ぶとともに課題解決能力を身に付けます。

● 電子・光工学コース

- ・電子・光デバイスや情報通信分野における厳選した専門科目を提供します。
- ・特別研究では、電子・光技術に関する応用力、課題解決力を身に付けます。

● 社会システム工学コース

- ・社会基盤や住環境の計画・整備と運営・維持のための高度な要素技術やデザインを学びます。
- ・安全で心豊かな生活を実現するために、建築・土木分野のみならず、関連する異分野の議論能力を高め、実社会における複雑なシステム的問題を発見、解決する力を養います。

● 環境数理コース

- ・環境学とデータサイエンスに関する幅広い知識を修得する科目を提供します。
- ・環境設計学、データ解析学、シミュレーション学に関する演習を通じて、データサイエンスを駆使する実践的な分析力を修得します。
- ・特別研究を通じて、自然および社会の諸現象の背景にある本質的な関係を抽出・分析する能力を養います。

● 化学コース

- ・有機・無機・高分子・物理化学分野における高度な知識を修得する科目を提供します。
- ・先端的な化学研究についての議論を通じて、多角的な視点から考え・実践する論理的思考力・研究企画力を身に付けます。
- ・特別研究やセミナーを通じて、化学研究における高い専門力とプレゼンテーション力・ディベート力を養います。

● 生命科学コース

- ・分子細胞生物学、発生生物学、ゲノム科学、生物資源科学分野における厳選した専門科目を提供します。
- ・セミナーおよび演習では、生命科学に関する議論を通じて論理的思考力とプレゼンテーション力を涵養します。
- ・特別研究を重視し、学術論文から吸収した知識を発展的に活用できる研究力を育むとともに、生命科学者としてのセンスを養います。

● マテリアル工学コース

- ・熱力学、量子力学、結晶学、固体物性論、結晶成長、材料組織学等、材料科学の根幹をなす分野の理解を深める科目を提供します。
- ・各種マテリアルの特徴と用途を理解したうえで、特性の発現機構とそれを最適化する組織制御技術、製造および加工プロセス、評価手法等について環境負荷と経済性の視点も含め総合的に学びます。
- ・特別研究やセミナーにおける実験データに基づいた本質的な議論を通じて、論理的思考およびプレゼンテーションの重要性を学び、高度な研究力を身に付けます。

● 情報学コース

- ・理論と実践の両面を重視した科目群によって構成します。
- ・プロジェクトベースドラッシングを取り入れ、基礎知識の体系的な修得と最新技術への応用力を養います。

● 起業マネジメントコース

- ・グローバルな視点で学んだ多様な専門領域を領域横断的な発想で活かします。
- ・企業や行政での実務経験と実績を有する教員による授業を展開し、課題解決方法論を学びます。
- ・事業創造、起業、組織経営、地域行政経営等における生きた教材を通して課題解決の方法論を学びます。

● 高度教育実践コース

- ・科学・工学に関する学問分野を深く学ぶことにより、理工学系の教科に関する高度な知識と技能および研究能力を身に付けます。
- ・学校現場における理工学系の教科を中心とする実践・研究活動を通じて、教師としての総合的な実践力と課題発見力・課題解決力を養います。

【博士後期課程】

博士後期課程においては、修士課程の教育を発展させ、さらに高度な専門知識や先端的な分野に対応できる研究能力を涵養することを重視した教育課程を編成します。

専門分野に偏ることなく、物事を多様な観点から捉えることのできる広い視野を持った人材を育成するため、工学研究科基盤工学専攻の1研究科1専攻としています。

一人の学生に対し、主指導教員1名と副指導教員2名が連携し、独創的・創造的で社会的・学術的な貢献が期待できる研究を指導します。また、研究指導やE-learningプログラムによる研究倫理教育を通じて、高い研究者倫理観、技術者倫理観を養います。

○カリキュラムの構成

科目は、「共通科目」と「専門領域科目」に分類しています。

(1) 共通科目

将来、国際的に活躍していくために必要な英語による情報発信力、論文執筆力を培う科目を提供します。

(2) 専門領域科目

研究に関する高度で幅広い専門知識の修得に加えて、各専門分野における研究の最新動向を理解するための科目を配置します。

多彩なセミナーや演習によって主体的な研究遂行を促します。

○学修成果の評価

学位論文は、明確な論文受理基準と審査基準を示すとともに、複数の審査員による公開論文審査を実施することにより公平性・厳格性を担保します。

ディプロマ・ポリシー ～卒業認定・学位授与の方針～

大学院工学研究科では、広範囲にわたる工学系の領域を融合させた総合的な教育・研究により、科学技術の発展に貢献できる人材を養成するという目的のもと、以下に示す能力を身に付け、学則に定める修了要件を満たした者に対して「修士」または「博士」の学位を授与します。

また、それぞれの学位には、研究分野に応じて「工学」、「学術」のいずれかを付記します。

- ・工学・理工学・情報学的分野：工学
- ・工学を基盤とする学術的・学際的分野：学術

【修士課程】

授与する学位：修士（工学または学術）

- 1 専攻する分野について修得した専門知識を活用する能力
- 2 独創性・創造性に富んだ発想と自分の考えを正しく論理的に表現する能力
- 3 国際感覚と多様性を許容する柔軟な発想
- 4 技術者としての倫理観
- 5 主体的に学び探求する能力

【博士後期課程】

授与する学位：博士（工学または学術）

- 1 専攻する分野の高度な専門知識の修得と先端的研究分野に対応できる研究能力
- 2 学術的新規性を伴った独創性・創造性の能力あるいは実務的影響力を意図した発想力とそれを具現化する実践力
- 3 グローバル社会に適応できる国際的コミュニケーション力
- 4 技術者・研究者としての高い倫理観と強固な責任感
- 5 弛まぬ考究力と未知の分野に挑戦する志向

目 次

■令和5年度大学院春季入学試験の概要	1
■修士課程	
[Ⅰ期募集] 一般選抜	2～3
[Ⅱ期募集] 一般選抜	4
[Ⅰ・Ⅱ期募集] 社会人特別選抜	5
[Ⅰ・Ⅱ期募集] 長期履修プログラム ※最長10年間在学できるプログラム	6
■博士後期課程	
[Ⅰ・Ⅱ期募集] 基盤工学コース/起業マネジメントコース（一般選抜/社会人特別選抜）	7
[Ⅰ・Ⅱ期募集] 社会人特別コース（社会人特別選抜）※短期学位取得コース	8
■特待生選抜について（博士後期課程）	9
■出願手続	10～11
■出願資格審査について	12～13
■受験および修学上の配慮を必要とする場合の事前相談	13
■受験上の注意	14
■合格発表	15
■入学手続	15～16
■授業料	17
■ティーチングアシスタント（TA）制度について（修士課程）	17
■給付奨学金について（博士後期課程）	17
■博士の学位授与に係る論文等の公表について	17
■個人情報保護について	17

問い合わせ先 高知県公立大学法人 高知工科大学 入試・広報課
〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185
TEL 0887-57-2222

令和5年度大学院春季入学試験の概要

1 研究科・専攻

- (1) 研究科：工学研究科
- (2) 専攻：基盤工学専攻

2 コース・入学定員・募集人数

課程	コース	入学定員(人)	募集人員(人)												
			一般選抜			社会人特別選抜			長期履修プログラム			特待生選抜※2		外国人留学生特別選抜※3	
			I期募集	II期募集	秋季入学	I期募集	II期募集	秋季入学	I期募集	II期募集	秋季入学	春季入学	秋季入学	春季入学	秋季入学
修士課程	知能機械工学コース	150	130 ※1	20 ※1	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名		
	航空宇宙工学コース														
	エネルギー工学コース														
	電子・光工学コース														
	社会システム工学コース														
	環境数理コース														
	化学コース														
	生命科学コース														
	マテリアル工学コース														
	情報学コース														
	起業マネジメントコース														
高度教育実践コース															
博士後期課程	基盤工学コース	25	20 ※1	5 ※1	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名		
	起業マネジメントコース														
	社会人特別コース														

- ※1 その他選抜区分の募集人員を含みます。
- ※2 特待生選抜の入試概要については、9ページを参照してください。
- ※3 外国人留学生特別選抜の入試概要については、大学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」をご覧ください。
- ※ 秋季入学は令和5年10月に入学する募集区分です。

3 試験日等日程 ※出願および入学手続期間は締切日17:00必着

課程	募集区分	選抜区分	コース	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
修士課程	I期募集	一般選抜 社会人特別選抜 長期履修プログラム	全コース	令和4年5月27日(金)	令和4年6月26日(日)	令和4年6月30日(木)	令和4年7月1日(金)
				令和4年6月3日(金)			令和4年7月8日(金)
修士課程	II期募集	一般選抜 社会人特別選抜 長期履修プログラム	全コース	令和5年1月4日(水)	令和5年2月12日(日)	令和5年2月16日(木)	令和5年2月17日(金)
				令和5年1月11日(水)			令和5年2月27日(月)
博士後期課程	I期募集	一般選抜 社会人特別選抜	基盤工学コース	令和4年5月27日(金)	令和4年6月26日(日)	令和4年6月30日(木)	令和4年7月1日(金)
			起業マネジメントコース				令和4年7月8日(金)
		社会人特別選抜	社会人特別コース	令和4年8月18日(木) 8月19日(金) のいずれか1日	令和4年9月5日(月)	令和4年9月6日(火) 令和4年9月13日(火)	
博士後期課程	II期募集	一般選抜 社会人特別選抜	基盤工学コース	令和5年1月4日(水)	令和5年2月12日(日)	令和5年2月16日(木)	令和5年2月17日(金)
			起業マネジメントコース				令和5年2月27日(月)
		社会人特別選抜	社会人特別コース	令和5年2月13日(月) 2月14日(火) のいずれか1日			

■ 修士課程 [I 期募集] 【一般選抜】

1 コース・選抜区分・募集人員

コース	選抜区分	募集人員
<ul style="list-style-type: none"> ● 知能機械工学コース ● 航空宇宙工学コース ● エネルギー工学コース ● 電子・光工学コース ● 社会システム工学コース ● 環境数理コース ● 化学コース ● 生命科学コース ● マテリアル工学コース ● 情報学コース ● 起業マネジメントコース ● 高度教育実践コース 	一般選抜	130人※

※ その他選抜区分の募集人員を含みます。

2 出願資格

次の①～⑩のいずれかに該当する者。

なお、高度教育実践コースへ出願する者は①～⑩のいずれかに該当し、かつ⑩にも該当する者。

- ① 大学を卒業した者、または令和5年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、または令和5年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または令和5年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または令和5年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または令和5年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者、または令和5年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または令和5年3月31日までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他大学大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑩ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに22歳に達するもの

※ 上記⑨、⑩の出願資格については、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、12～13ページの「出願資格審査について」を参照してください。

- ⑩ 教育職員免許法第4条に定める普通免許状(一種免許状に限る。)を有する者、または令和5年3月31日までに一種免許状を取得見込みの者。

高度教育実践コースに一種免許状を取得見込みで出願し合格した者が、令和5年3月31日までに一種免許状を取得できない場合は、合格取消となります。

3 選抜方法

一般選抜(起業マネジメントコース、高度教育実践コース以外)	英語、面接(口頭試問を含む)、提出書類の総合判定(注)
一般選抜(起業マネジメントコース、高度教育実践コース)	面接(口頭試問を含む)および提出書類の総合判定

(注) 本学学士課程から引き続き修士課程に進学しようとする者で本学が定める大学院修士課程学内進学に係る基準を満たし修士課程学内進学申請書を提出したものは、試験及び提出書類の一部を免除します。

4 出願期間・試験日等

出願・入学手続期間は締切日17:00必着

募集区分	コース	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
I期募集	全コース	令和4年5月27日(金) ～ 令和4年6月3日(金)	令和4年6月26日(日)	令和4年6月30日(木)	令和4年7月1日(金) ～ 令和4年7月8日(金)

▶ 出願手続および出願書類等については、10～11ページを参照してください。

▶ 合格発表・入学手続については、15～16ページを参照してください。

▶ 本学学士課程から引き続き修士課程に進学しようとする者も、試験免除の有無にかかわらず出願する必要があります。

5 試験科目・配点

コース	科目等	出題範囲	配点	合計	試験時間
知能機械工学コース	英語	TOEICの成績を、本学の換算方法に従って換算した点数を利用する。	100	500	40分
	面接	材料力学、熱力学、流体力学、機械力学、制御工学に関する口頭試問を含む。	300		
	提出書類	成績証明書に基づいて、入学希望コースに関する分野の専門的な知識や技術の技量を総合的に評価する。	100		
航空宇宙工学コース	英語	TOEICの成績を、本学の換算方法に従って換算した点数を利用する。	100	500	40分
	面接	材料力学、推進工学、空気力学、動力学、制御工学の中から、主に航空宇宙工学に関連する内容の口頭試問を含む。	300		
	提出書類	成績証明書に基づいて、入学希望コースに関する分野の専門的な知識や技術の技量を総合的に評価する。	100		
エネルギー工学コース	英語	TOEICの成績を、本学の換算方法に従って換算した点数を利用する。	100	500	40分
	面接	熱力学、電力工学、エネルギー工学に関する口頭試問を含む。	300		
	提出書類	成績証明書に基づいて、入学希望コースに関する分野の専門的な知識や技術の技量を総合的に評価する。	100		
電子・光工学コース	英語	TOEICの成績を、本学の換算方法に従って換算した点数を利用する。	100	500	40分
	面接	電磁気、電気回路、電子回路に関する口頭試問を含む。	300		
	提出書類	成績証明書に基づいて、入学希望コースに関する分野の専門的な知識や技術の技量を総合的に評価する。	100		
社会システム工学コース	英語	TOEICの成績を、本学の換算方法に従って換算した点数を利用する。	100	500	30分
	面接	土木工学および建築学に関する口頭試問を含む。	300		
	提出書類	成績証明書に基づいて、入学希望コースに関する分野の専門的な知識や技術の技量を総合的に評価する。	100		
環境数理コース	英語	TOEICの成績を、本学の換算方法に従って換算した点数を利用する。	100	500	30分
	面接	数学・科学の基礎知識、環境学、およびデータサイエンスに関する口頭試問を含む。	300		
	提出書類	成績証明書に基づいて、入学希望コースに関する分野の専門的な知識や技術の技量を総合的に評価する。	100		
化学コース	英語	TOEICの成績を、本学の換算方法に従って換算した点数を利用する。	100	500	30分
	面接	有機化学、無機化学、高分子化学の領域の口頭試問を含む。	300		
	提出書類	成績証明書に基づいて、入学希望コースに関する分野の専門的な知識や技術の技量を総合的に評価する。	100		
生命科学コース	英語	TOEICの成績を、本学の換算方法に従って換算した点数を利用する。	100	500	30分
	面接	細胞生物学、生化学、分子生物学の領域の口頭試問を含む。	300		
	提出書類	成績証明書に基づいて、入学希望コースに関する分野の専門的な知識や技術の技量を総合的に評価する。	100		
マテリアル工学コース	英語	TOEICの成績を、本学の換算方法に従って換算した点数を利用する。	100	500	30分
	面接	材料物性、材料組織、材料プロセス、電磁気学の領域の口頭試問を含む。	300		
	提出書類	成績証明書に基づいて、入学希望コースに関する分野の専門的な知識や技術の技量を総合的に評価する。	100		
情報学コース	英語	TOEICの成績を、本学の換算方法に従って換算した点数を利用する。	100	500	30分
	面接	口頭試問を含む面接及び成績証明書に基づいて、情報学分野の知識や技量を総合的に評価する。なお、口頭試問は以下の範囲から出題する。	400		
	提出書類	・数学（微分・積分、線形代数、フーリエ解析） ・情報基礎（情報代数、離散数学、信号理論基礎、情報理論基礎、情報システム概論、論理回路）			
起業マネジメントコース	面接 提出書類	口頭試問を含む面接及び提出書類に基づいて、総合的に評価する。なお、口頭試問を含む面接では以下の内容を中心に質問する。 ①入学志望動機・目標 ②経営等への関心・理解 ③挑戦意欲 ④研究計画	400	400	30分
高度教育実践コース	面接 提出書類	口頭試問を含む面接及び提出書類に基づいて、総合的に評価する。 なお、口頭試問は以下の範囲から出題する。 ・教育学 ・教育心理学	400	400	30分

【英語学力検査について】

- ①英語の学力検査については、TOEICのスコアからの換算点を、英語の点数として採用します。出願開始日から遡って過去2年以内のTOEIC成績証明書の写しの提出が必要となります。
- ②本学学士課程から引き続き修士課程に進学しようとする者は、本学で実施したTOEIC IPテストの出願開始日から遡って過去2年以内の成績証明書 Score Sheetも利用できます。

6 試験時間

面接	9:00~18:00
----	------------

※試験当日の集合時刻は、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

7 試験会場

高知工科大学香美キャンパス	高知県香美市土佐山田町宮ノ口185
---------------	-------------------

※修士課程への志願者は、本学大学院教員のうち、2年以内に定年退職予定の教員を指導教員として希望することは、原則としてできません。また、本学研究機関勤務の教員を指導教員として希望する場合は、事前に入試・広報課までご連絡ください。

■ 修士課程 [Ⅱ期募集] 【一般選抜】

1 コース・選抜区分・募集人員

コース	選抜区分	募集人員
<ul style="list-style-type: none"> ● 知能機械工学コース ● 航空宇宙工学コース ● エネルギー工学コース ● 電子・光工学コース ● 社会システム工学コース ● 環境数理コース ● 化学コース ● 生命科学コース ● マテリアル工学コース ● 情報学コース ● 起業マネジメントコース ● 高度教育実践コース 	一般選抜	20人※

※ その他選抜区分の募集人員を含みます。

2 出願資格

次の①～⑩のいずれかに該当する者。

なお、高度教育実践コースへ出願する者は①～⑩のいずれかに該当し、かつ⑩にも該当する者。

- ① 大学を卒業した者、または令和5年3月31日までに卒業見込みの者
 - ② 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、または令和5年3月31日までに授与される見込みの者
 - ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または令和5年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または令和5年3月31日までに修了見込みの者
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または令和5年3月31日までに修了見込みの者
 - ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者、または令和5年3月31日までに授与される見込みの者
 - ⑦ 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または令和5年3月31日までに修了見込みの者
 - ⑧ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
 - ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他大学大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑩ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに22歳に達するもの
- ※ 上記⑨、⑩の出願資格については、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、12～13ページの「出願資格審査について」を参照してください。
- ⑪ 教育職員免許法第4条に定める普通免許状(一種免許状に限る。)を有する者、または令和5年3月31日までに一種免許状を取得見込みの者。
高度教育実践コースに一種免許状を取得見込みで出願し合格した者が、令和5年3月31日までに一種免許状を取得できない場合は、合格取消となります。

3 選抜方法

面接(口頭試問を含む)および提出書類を総合して判定します。

4 出願期間・試験日等

出願・入学手続期間は締切日17:00必着

募集区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
Ⅱ期募集	令和5年1月4日(水) } 令和5年1月11日(水)	令和5年2月12日(日)	令和5年2月16日(木)	令和5年2月17日(金) } 令和5年2月27日(月)

▶ 出願手続および出願書類等については、10～11ページを参照してください。

▶ 合格発表・入学手続については、15～16ページを参照してください。

5 試験時間

面接 9:00～18:00 ※試験当日の集合時刻は、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

6 試験会場

高知工科大学香美キャンパス 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

※ 修士課程への志願者は、本学大学院教員のうち、2年以内に定年退職予定の教員を指導教員として希望することは、原則としてできません。また、本学研究機関勤務の教員を指導教員として希望する場合は、事前に入試・広報課までご連絡ください。

■ 修士課程 [I ・ II 期募集] 【社会人特別選抜】

1 コース・選抜区分・募集区分・募集人員

コ ー ス	選抜区分	募集区分	募集人員
<ul style="list-style-type: none"> ● 知能機械工学コース ● 航空宇宙工学コース ● エネルギー工学コース ● 電子・光工学コース ● 社会システム工学コース ● 環境数理コース 	社会人特別選抜	I 期募集	若干名
<ul style="list-style-type: none"> ● 化学コース ● 生命科学コース ● マテリアル工学コース ● 情報学コース ● 起業マネジメントコース ● 高度教育実践コース 		II 期募集	若干名

2 出願資格

次の①～⑩のいずれかに該当し、有職者であるか、または大学を卒業後2年以上の実務経験がある者。加えて高度教育実践コースへ出願する者は、⑩にも該当する者。

- ① 大学を卒業した者、または令和5年3月31日までに卒業見込みの者
 - ② 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、または令和5年3月31日までに授与される見込みの者
 - ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または令和5年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または令和5年3月31日までに修了見込みの者
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または令和5年3月31日までに修了見込みの者
 - ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者、または令和5年3月31日までに授与される見込みの者
 - ⑦ 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または令和5年3月31日までに修了見込みの者
 - ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
 - ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他大学大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑩ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに22歳に達するもの
- ※ 上記⑨、⑩の出願資格については、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、12～13ページの「出願資格審査について」を参照してください。
- ⑪ 教育職員免許法第4条に定める普通免許状（一種免許状に限る。）を有する者、または令和5年3月31日までに一種免許状を取得見込みの者。
高度教育実践コースに一種免許状を取得見込みで出願し合格した者が、令和5年3月31日までに一種免許状を取得できない場合は、合格取消となります。

3 選抜方法

面接（口頭試問を含む）および提出書類（経歴書を含む）を総合して判定します。

4 出願期間・試験日等

出願・入学手続期間は締切日17:00必着

募集区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
I 期募集	令和4年5月27日(金)	令和4年6月26日(日)	令和4年6月30日(木)	令和4年7月1日(金)
	令和4年6月3日(金)			令和4年7月8日(金)
II 期募集	令和5年1月4日(水)	令和5年2月12日(日)	令和5年2月16日(木)	令和5年2月17日(金)
	令和5年1月11日(水)			令和5年2月27日(月)

- ▶ 出願手続および出願書類等については、10～11ページを参照してください。
- ▶ 合格発表、入学手続については、15～16ページを参照してください。

5 試験時間

面 接 9 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0 ※試験当日の集合時刻は、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。

6 試験会場

高知工科大学香美キャンパス 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

※修士課程への志願者は、本学大学院教員のうち、2年以内に定年退職予定の教員を指導教員として希望することは、原則としてできません。また、本学研究機関勤務の教員を指導教員として希望する場合は、事前に入試・広報課までご連絡ください。

■ 修士課程 [I ・ II 期募集] 【長期履修プログラム】

※長期履修プログラムは、最短2年6ヶ月間、最長10年間在学できるプログラムです。
授業料は履修登録ごとに納入（17ページ参照）となります。

1 コース・選抜区分・募集区分・募集人員

コ ー ス	選抜区分	募集区分	募集人員
<ul style="list-style-type: none"> ● 知能機械工学コース ● 航空宇宙工学コース ● エネルギー工学コース ● 電子・光工学コース ● 社会システム工学コース ● 環境数理コース ● 化学コース ● 生命科学コース ● マテリアル工学コース ● 情報学コース ● 起業マネジメントコース ● 高度教育実践コース 	長期履修プログラム	I 期募集	若干名
		II 期募集	若干名

2 出願資格

次の（１）、（２）のいずれかを満たす者で、下記の①～⑩のいずれかに該当する者。加えて高度教育実践コースへ出願する者は、⑩にも該当する者。

（１）企業等に雇用されている者もしくは雇用の見込みがある者、または自ら事業を行っている者もしくはその計画を有している者

（２）その他長期履修を必要とする事由があると本学学長が認める者

- ① 大学を卒業した者、または令和 5 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
 - ② 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、または令和 5 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
 - ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、または令和 5 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者、または令和 5 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または令和 5 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者、または令和 5 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
 - ⑦ 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または令和 5 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
 - ⑨ 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他大学大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑩ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 5 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの
- ※ 上記⑨、⑩の出願資格については、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、12～13ページの「出願資格審査について」を参照してください。
- ⑪ 教育職員免許法第 4 条に定める普通免許状（一種免許状に限る。）を有する者、または令和 5 年 3 月 31 日までに一種免許状を取得見込みの者。
高度教育実践コースに一種免許状を取得見込みで出願し合格した者が、令和 5 年 3 月 31 日までに一種免許状を取得できない場合は、合格取消となります。

3 選抜方法

面接（口頭試問を含む）および提出書類（経歴書を含む）を総合して判定します。

4 事前協議

本プログラムへの志願者は、出願の前に指導を希望する本学大学院教員と受け入れの可能性について協議してください。ただし、本学大学院教員のうち、2年以内に定年退職予定の教員を指導教員として希望することは、原則としてできません。また、本学研究機関勤務の教員を指導教員として希望する場合は、事前に入試・広報課までご連絡ください。

5 出願期間・試験日等

出願・入学手続期間は締切日 17:00 必着

募集区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
I 期募集	令和 4 年 5 月 27 日(金)	令和 4 年 6 月 26 日(日)	令和 4 年 6 月 30 日(木)	令和 4 年 7 月 1 日(金)
	令和 4 年 6 月 3 日(金)			令和 4 年 7 月 8 日(金)
II 期募集	令和 5 年 1 月 4 日(水)	令和 5 年 2 月 12 日(日)	令和 5 年 2 月 16 日(木)	令和 5 年 2 月 17 日(金)
	令和 5 年 1 月 11 日(水)			令和 5 年 2 月 27 日(月)

- ▶ 出願手続および出願書類等については、10～11ページを参照してください。
- ▶ 合格発表、入学手続については、15～16ページを参照してください。

6 試験時間

面 接	9:00～18:00	※試験当日の集合時刻は、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。
-----	------------	--------------------------------------

7 試験会場

高知工科大学香美キャンパス	高知県香美市土佐山田町宮ノ口 1 8 5
---------------	----------------------

※長期履修プログラムの学生は、入学後、休学申請はできず、また入学を許可されたコース以外への転コース、通常の 2 年課程への異動はできませんのでご注意ください。

■博士後期課程 [I ・ II 期募集] 基盤工学コース / 起業マネジメントコース 【一般選抜 / 社会人特別選抜】

1 コース・選抜区分・募集区分・募集人員

コース	選抜区分	募集区分	募集人員
基盤工学コース 起業マネジメントコース	一般選抜	I 期募集	20人*
		II 期募集	5人*
	社会人特別選抜	I 期募集	若干名
		II 期募集	若干名

※ その他選抜区分の募集人員を含みます。

2 出願資格

(1) 一般選抜

次のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位もしくは専門職学位を有する者、または令和 5 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者、または令和 5 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者、または令和 5 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者、または令和 5 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または令和 5 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、上記④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者、または令和 5 年 3 月 31 日までに認められる見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
- ⑧ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和 5 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの

※ 上記⑦、⑧の出願資格については、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、12～13ページの「出願資格審査について」を参照してください。

(2) 社会人特別選抜

上記（1）の出願資格を満たし、有職者であるか、大学院修士課程または大学院博士前期課程を修了後 2 年以上の実務経験がある者

3 選抜方法

一般選抜	面接（口頭試問を含む）および提出書類を総合して判定します。
社会人特別選抜	面接（口頭試問を含む）および提出書類（経歴書を含む）を総合して判定します。

4 事前協議

志願者は、出願の前に指導を希望する本学大学院教員と受け入れの可能性について協議してください。ただし、本学大学院教員のうち、3 年以内に定年退職予定の教員を指導教員として希望することは、原則としてできません。また本学研究機関勤務の教員を指導教員として希望する場合は、事前に入試・広報課までご連絡ください。

5 出願期間・試験日等

出願・入学手続期間は締切日 17:00 必着

募集区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
I 期募集	令和 4 年 5 月 27 日 (金)	令和 4 年 6 月 26 日 (日)	令和 4 年 6 月 30 日 (木)	令和 4 年 7 月 1 日 (金)
	令和 4 年 6 月 3 日 (金)			令和 4 年 7 月 8 日 (金)
II 期募集	令和 5 年 1 月 4 日 (水)	令和 5 年 2 月 12 日 (日)	令和 5 年 2 月 16 日 (木)	令和 5 年 2 月 17 日 (金)
	令和 5 年 1 月 11 日 (水)			令和 5 年 2 月 27 日 (月)

▶ 出願手続および出願書類等については、10～11ページを参照してください。

▶ 合格発表、入学手続については、15～16ページを参照してください。

6 試験時間

面接	9:00～18:00	※ 試験当日の集合時刻は、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。
----	------------	---------------------------------------

7 試験会場

高知工科大学香美キャンパス	高知県香美市土佐山田町宮ノ口 185
---------------	--------------------

■博士後期課程 [Ⅰ・Ⅱ期募集] 社会人特別コース

【社会人特別選抜】 ※短期学位取得コース

1 コース・選抜区分・募集区分・募集人員

コース	選抜区分	募集区分	募集人員
社会人特別コース	社会人特別選抜	Ⅰ期募集	若干名
		Ⅱ期募集	若干名

2 出願資格

有職者であるか、大学院修士課程または大学院博士前期課程を修了後2年以上の実務経験がある者で、次のいずれかに該当するもの

- ① 修士の学位もしくは専門職学位を有する者、または令和5年3月31日までに授与される見込みの者
 - ② 外国において修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者、または令和5年3月31日までに授与される見込みの者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者、または令和5年3月31日までに授与される見込みの者
 - ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された者、または令和5年3月31日までに授与される見込みの者
 - ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または令和5年3月31日までに授与される見込みの者
 - ⑥ 外国の学校、上記④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者、または令和5年3月31日までに認められる見込みの者
 - ⑦ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - ⑧ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年3月31日までに24歳に達するもの
- ※ 上記⑦、⑧の出願資格については、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、12～13ページの「出願資格審査について」を参照してください。

3 選抜方法

学位論文予備審査、試問試験および提出書類（経歴書を含む）を総合して判定します。

4 事前協議

志願者は、出願の前に指導を希望する本学大学院教員と受け入れの可能性について協議してください。ただし、本学大学院教員のうち、3年以内に定年退職予定の教員を指導教員として希望することは、原則としてできません。また本学研究機関勤務の教員を指導教員として希望する場合は、事前に入試・広報課までご連絡ください。

5 出願期間・試験日等

出願・入学手続期間は締切日17:00必着

募集区分	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
Ⅰ期募集	令和4年5月27日(金)	令和4年8月18日(木) 令和4年8月19日(金) のいずれか1日	令和4年9月5日(月)	令和4年9月6日(火)
	令和4年6月3日(金)			令和4年9月13日(火)
Ⅱ期募集	令和5年1月4日(水)	令和5年2月13日(月) 令和5年2月14日(火) のいずれか1日	令和5年2月16日(木)	令和5年2月17日(金)
	令和5年1月11日(水)			令和5年2月27日(月)

▶出願手続および出願書類等については、10～11ページを参照してください。

▶合格発表、入学手続については、15～16ページを参照してください。

6 試験時間

面接	9:00～18:00	※試験当日の集合時刻は、出願締切後にお知らせします。
----	------------	----------------------------

7 試験会場

高知工科大学香美キャンパス	高知県香美市土佐山田町宮ノ口185
---------------	-------------------

■ 特待生選抜について（博士後期課程）

本学大学院博士後期課程には、特に優秀な博士後期課程の学生に対し就学を奨励するための特待生制度があります。

1 SSP特待生選抜

博士後期課程特待生制度（Special Scholarship Program: SSP）は、大学の先進的な研究を推し進めるため、2003年に創設されました。毎年春と秋、特定の研究プロジェクトに従事する博士後期課程学生を、日本を含む全世界から募集、選抜しています。入学した学生は、プロジェクトリーダーである教員の下、指導を受けます。

本制度は、アメリカの大学等で多く採用されている研究の専念に重きを置いた制度です。授業料等全額免除に加え、先端的研究プロジェクトに従事することにより給料を得ることができるため、学生は、経済的負担・不安を抱えることなく、在学中の時間を有効に使って指導教員と共に研究を推し進めながら学位取得を目指すことができます。

特待生制度の適用を受けるには、特待生選抜に出願し、合格する必要があります。

（1）特待内容

①入学検定料免除 30,000円

②入学金免除 300,000円

③授業料全額免除 年間535,800円

④月150,000円の給与を支給

本学の研究プロジェクトに従事することに対して月150,000円の給与を支給します。

⑤渡日金 150,000円（出願時、国外に住む外国人に限る）

※特待生制度の適用期間は1年間で、特に問題がない限り3年間を上限に更新されます。ただし、本学学則第23条の懲戒に該当したとき、特待生の研究成果の評価が特待生として相応しくないと認められたとき、その他、特待生として相応しくない行為が認められたときには、特待生としての資格が取り消されます。

（2）特待生選抜の詳細について

本制度および出願手続・選抜方法等の詳細については、下記Webサイトをご参照ください。

アドレス「https://www.kochi-tech.ac.jp/english/admission/ssp_aft19oct/outline.html」

※特待生選抜への出願は、本募集要項および本学のインターネット出願サイトではできません。

上記Webサイトで内容をご確認の上、出願してください。

※特待生選抜に出願する場合は、事前に必ず本学国際交流課（TEL：0887-53-1130）に相談してください。

2 CSC-KUT特待生選抜 ※基盤工学コースのみ

学位（博士）取得を目的に本学への入学を目指す中国人留学生向けの奨学金制度です。

本学と「中国国家留学基金管理委员会」（Chinese Scholarship Program: CSC）との協定に基づく制度で、志願者は本学およびCSC両方に、出願し、合格する必要があります。本制度は中国において修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与された中国人学生のみが対象です。（授与見込みの者も含む）

（1）本学からの特待内容（CSCからの奨学金は別途CSCの定めにより支給）

①入学検定料免除 30,000円

②入学金免除 300,000円

③授業料全額免除 年間535,800円

④月50,000円の奨学金

⑤渡日金 150,000円

（2）特待生選抜の詳細について

本制度および出願手続・選抜方法等の詳細については、下記Webサイトをご参照ください。

アドレス「https://www.kochi-tech.ac.jp/english/admission/csc_kut_scholarship_program/outline.html」

※CSCの募集要項については、CSCのWebサイトをご参照ください。

■ 出願手続

1 出願書類 (修士課程)

●のある書類は、各選抜区分に必要な提出書類です。ただし、修士課程Ⅰ期募集に出願される学内進学者で修士課程学内進学申請書を提出し、入学試験が免除される者については、「研究概要」「自己推薦書」「TOEIC成績証明書の写し」の提出を免除します。

募集区分	選抜区分	入学志願票・写真票	自己推薦書	卒業(見込)証明書(修了(見込)証明書)	成績証明書	研究概要	長期履修学生申請書	長期履修計画書	経歴書	TOEIC成績証明書の写し	一種免許状の写し(見込証明書)※高度教育実践コースのみ
Ⅰ期募集	一般選抜(起業マネジメントコース、高度教育実践コースを除く)					日本文 A 4 1枚程度				●	
	一般選抜(起業マネジメントコース、高度教育実践コース)	●	●	●	●	英文・日本文 A 4 各 1枚程度					●
	社会人特別選抜 長期履修プログラム						●	●	●		
Ⅱ期募集	一般選抜					英文・日本文 A 4 各 1枚程度					
	社会人特別選抜 長期履修プログラム	●	●	●	●		●	●	●		●

〈出願書類詳細〉

入学志願票・写真票	インターネット出願サイトより入学検定料支払手続完了後にダウンロードできます。A4サイズ(カラー)で印刷してください。
自己推薦書	本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、自筆で記入のうえ提出してください。
卒業(見込)証明書(修了(見込)証明書) 成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学の学長(学部長)等が作成し、厳封したものを提出してください。(学内進学者は厳封不要です。) 出願資格②に該当する者は、次の書類を提出してください。 <ol style="list-style-type: none"> 学位授与証明書または学位授与申請受理証明書 大学改革支援・学位授与機構に学位授与申請をした際に提出した成績に関する書類 出願資格⑨、⑩に該当する者で出願資格審査の際に提出している場合は不要です。出願資格認定書の写しを提出してください。 ※出願資格により、出願資格を証明する他の書類を提出していただくことがあります。不明点については入試・広報課(TEL: 0887-57-2222)までお問い合わせください。
研究概要	Ⅰ期募集一般選抜(起業マネジメントコース、高度教育実践コースを除く) 現在までの研究内容または入学後の研究計画の概要を、日本文で記載したもの(A4サイズ1枚程度)を提出してください。(様式は定めません。受験者の氏名を右上に記入。) 上記以外 現在までの研究内容または入学後の研究計画の概要を、英文および日本文で記載したもの(各A4サイズ1枚程度)を提出してください。(様式は定めません。受験者の氏名を右上に記入。)
長期履修学生申請書	長期履修プログラムの出願者は、本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、提出してください。
長期履修計画書	長期履修プログラムの出願者は、本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、提出してください。 ※長期履修計画書どおりに必ず履修しなければならないというわけではありませんが、 事前に指導予定教員と充分協議した上で計画し、指導予定教員の署名・押印済みの計画書を提出してください。
経歴書	本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、提出してください。その他活動歴(研究歴、受賞歴、作品、資格、免許、特技等)については、それを証明する書類の写しを添付してください。 出願資格⑨、⑩に該当する者で出願資格審査の際に提出している場合は不要です。 ※一般選抜の出願者は提出する必要はありません。
TOEIC成績証明書の写し	Ⅰ期募集一般選抜(起業マネジメントコース、高度教育実践コースを除く)において、英語の学力検査はTOEICの成績を本学の換算方法に従って換算した点数を利用するため、出願開始日から遡って過去2年以内に修めたTOEIC公開テストのOfficial Score Certificate(公式認定証)の写しを提出してください。 ただし、本学学士課程から引き続き修士課程に進学しようとする者は、本学で実施したTOEIC IPテストの成績証明書Score Sheet(出願開始日から遡って過去2年以内の成績)も認めます。
一種免許状の写し(見込証明書)	高度教育実践コースの志願者のみ提出してください。

※各種証明書類について、改氏名があった場合は、新・旧両方の氏名が確認できる資料として戸籍謄(抄)本、住民票、運転免許証等の写しを提出してください。

(博士後期課程)

●のある書類は、各選抜区分に必要な提出書類です。

募集区分	選抜区分	入学志願票 ・写真票	自己 推薦書	卒業 (見込) 証明書 (修了 (見込) 証明書)	成績 証明書	研究概要	経歴書
Ⅰ期募集 Ⅱ期募集	一般選抜	●	●	●	●	英文A 4 2枚程度	
	社会人特別選抜						●

〈出願書類詳細〉

入学志願票 ・写真票	インターネット出願サイトより入学検定料支払手続完了後にダウンロードできます。 A4サイズ(カラー)で印刷してください。
自己推薦書	本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「募集要項」よりダウンロードし、A4サイズで印刷後、 <u>自筆</u> で記入のうえ提出してください。
卒業(見込)証明書 (修了(見込)証明書) 成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学の学長(研究科長)等が作成し、<u>厳封したものを</u>提出してください。 出願資格⑦、⑧に該当する者で出願資格審査の際に提出している場合は不要です。出願資格認定書の写しを提出してください。 ※出願資格により、出願資格を証明する他の書類を提出していただくことがあります。 不明点については入試・広報課(TEL:0887-57-2222)までお問い合わせください。
研究概要	現在までの研究内容または入学後の研究計画の概要を英文で記載したもの(A4サイズ2枚程度)を提出してください。社会人特別コースへの出願者は、学位論文予備審査における研究骨子となります。(様式は定めない。受験者の氏名を右上に記入。)
経歴書	本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、提出してください。 その他活動歴(研究歴、受賞歴、作品、資格、免許、特技等)については、それを証明する書類の写しを添付してください。 出願資格⑦、⑧に該当する者で出願資格審査の際に提出している場合は不要です。 ※一般選抜の出願者は提出する必要はありません。

※各種証明書類について、改氏名があった場合は、新・旧両方の氏名が確認できる資料として戸籍謄(抄)本、住民票、運転免許証等の写しを提出してください。

2 出願書類の留意事項

長期履修プログラム(修士課程)および博士後期課程に出願する場合は、必ず出願の前に指導を希望する本学大学院教員と受け入れの可能性について協議してください。

- (1) **入学検定料 30,000円** ※出願受付後は一度納入された入学検定料は返還しません。
- (2) **出願書類提出先 〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185 高知工科大学 入試・広報課**
- (3) **出願書類は書留速達で送付**してください。出願期間の**締切日17:00必着**です。
- (4) 出願用封筒は、市販の封筒(角形2号)を使用し、前面に所定の**封筒貼付用宛名シート**を貼り付けてください。
(封筒貼付用宛名シートは、インターネット出願サイトより入学検定料支払手続完了後にダウンロードできます。)
- (5) 出願書類の不足、誤記入等の場合、出願を受け付けることができませんので注意してください。
- (6) 一度提出された書類は返還しません。
- (7) 出願書類へ記入した住所に変更が生じた場合は、ただちに入試・広報課へ申し出るとともに郵便局へ転居届を提出してください。合格通知、入学手続書類等はすべて出願時に登録している住所に送付します。

インターネット出願について

インターネット出願に関する詳細は、『インターネット出願利用ガイド』をご確認ください。

★掲載場所

本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「募集要項」

URL:https://www.kochi-tech.ac.jp/admission/requirement/graduate_school.html



■ 出願資格審査について

大学院において、修士課程の出願資格⑨または⑩、博士後期課程の出願資格⑦または⑧により出願を希望する方は、出願に先立ち、出願資格審査を受ける必要があります。審査の結果、出願資格を認定された場合に限り、出願が認められます。

出願資格審査の実施要領は、以下のとおりです。

1 申請期限

- (1) I期募集：令和4年4月22日(金)必着
- (2) II期募集：令和4年11月18日(金)必着

2 申請方法

次の書類をそろえ、申請期限までに次ページの申請先に提出してください。審査に必要な書類がそろっていない場合、申請を受け付けることができませんので十分留意してください。

〔申請書類〕

- (1) 出願資格審査申請書(本学所定の様式。Webサイトよりダウンロード)
- (2) 生年月日を確認できる公的書類またはその写し
- (3) その他必要書類

◆ 修士課程の出願資格⑨で出願しようとする場合

- ・ 在籍する大学院の成績証明書
- ・ 出身大学の成績証明書
- ・ 学習歴・実務経験等申告書(本学所定の様式。Webサイトよりダウンロード)

※成績証明書は、在籍する大学院の学長(研究科長)および出身大学の学長(学部長)が作成し厳封したもの。

◆ 修士課程の出願資格⑩で出願しようとする場合

- ・ 最終学校の成績証明書
- ・ 最終学校の卒業(修了)証明書
- ・ 学習歴・実務経験等申告書(本学所定の様式。Webサイトよりダウンロード)
- ・ 個人の学習歴を証明する書類(該当者のみ)
- ・ 審査申請時の直近の就労(ただし継続して3ヶ月以上就労しているものに限る。)を証明する書類(該当者のみ)
- ・ 活動経験等を証明する書類(該当者のみ)
- ・ 資格等を有することを証明する書類(該当者のみ)

※成績証明書および卒業(修了)証明書は、最終出身校が作成し厳封したもの。

◆ 博士後期課程の出願資格⑦で出願しようとする場合

- ・ 出身大学の卒業証明書または外国の学校教育における16年の課程を修了したことを証明する書類
- ・ 学習歴・実務経験等申告書(本学所定の様式。Webサイトよりダウンロード)
- ・ 大学、研究所等における2年以上の研究期間を証明する書類(原本)
- ・ 大学、研究所等における研究の成果等を証明する書類

※卒業(修了)証明書は最終出身校が作成し厳封したもの。

◆ 博士後期課程の出願資格⑧で出願しようとする場合

- ・ 最終学校の成績証明書
- ・ 最終学校の卒業(修了)証明書
- ・ 学習歴・実務経験等申告書(本学所定の様式。Webサイトよりダウンロード)
- ・ 個人の学習歴を証明する書類(該当者のみ)
- ・ 審査申請時の直近の就労(ただし継続して3ヶ月以上就労しているものに限る。)を証明する書類(該当者のみ)
- ・ 研究実績、活動経験等を証明する書類(該当者のみ)
- ・ 資格等を有することを証明する書類(該当者のみ)

※成績証明書および卒業(修了)証明書は最終出身校が作成し厳封したもの。

〔本学所定の様式について〕

本学所定の様式については、本学Webサイト「入試情報」→「大学院入試情報」→「出願資格審査」アドレス「<https://www.kochi-tech.ac.jp/admission/examination/>」よりダウンロードしてください。ダウンロードができない場合は、入試・広報課(TEL：0887-57-2222)へお問い合わせください。



3 申請先および問い合わせ先

〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185
高知工科大学 入試・広報課
TEL : 0887-57-2222

※申請書類を郵送する場合は、必ず書留速達とし、封筒表に「出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。

4 審査方法

高知工科大学の出願資格審査委員会において、提出された書類により審査します。なお、提出された書類以外に必要なに応じ追加の書類の提出を求めることがあります。

5 審査基準

- (1) 修士課程の出願資格⑨で出願しようとする場合
出身大学および在籍する大学院における成績ならびに取得した資格等を総合的に判断します。
- (2) 修士課程の出願資格⑩で出願しようとする場合
最終学校卒業(修了)後における学習歴、社会における実務経験、海外における国際団体等での活動経験等を総合的に判断します。
- (3) 博士後期課程の出願資格⑦で出願しようとする場合
大学卒業後または外国の学校教育における16年の課程修了後の大学、研究所等での研究成果等を総合的に判断します。
- (4) 博士後期課程の出願資格⑧で出願しようとする場合
最終学校卒業(修了)後における研究・学習歴、社会における実務経験、海外における国際団体等での活動経験等を総合的に判断します。

6 審査結果の通知

審査結果は、申請者宛に郵送により通知します。

7 入学者選抜試験の受験について

「出願資格認定書」の交付を受けた方は、出願時に、当該出願資格認定書の写しを添付してください。

8 その他

- (1) 出願資格の認定は、入学者選抜（可否）とは別のものです。
- (2) 出願資格認定書は、次年度以降も有効ですが、「卒業（修了）見込」で認定を受けた方は、当該教育機関を卒業（修了）した証明書を提出できる場合に限りです。
- (3) 出願資格認定後、出願資格審査の対象となった事項について、事実と異なることが判明したときは、当該認定を取り消します。

■ 受験および修学上の配慮を必要とする場合の事前相談

障がい等を有する等、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願に先立ち、それぞれの選抜区分における出願開始の2週間前までに入試・広報課（TEL : 0887-57-2222）に相談してください。なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

■ 受験上の注意

1 受験票

- (1) 受験票は、インターネット出願サイトより入学検定料支払手続完了後にダウンロードできます。試験当日までに印刷（カラー）し、大切に保管してください。また、**試験当日は、受験票を必ず持参してください。**
- (2) 試験当日に受験票を忘れたり紛失した場合は、係員へ申し出て、指示を受けてください。

2 試験室への入退室

- (1) 入室時間までに面接控室へ入室してください。
- (2) 面接控室へ入室したら、指定された席に着席し、受験票は机上の受験番号シールの手前に置いてください。
- (3) 入室時間に遅刻した者は受験できません。
ただし、自然災害等不可抗力による遅刻の場合は、特別措置を講じることがありますので、ただちに係員へ申し出てください。
- (4) 係員に用件のある場合は、黙って挙手してください。
- (5) 試験開始後、試験時間が終了するまで退室できません。
- (6) 「面接」では、各自の試験が終了すれば退室となります。

3 受験上の注意

- (1) 試験会場においては、係員および試験監督者の指示に従ってください。
- (2) 携帯電話等は面接控室に入る前に、アラーム機能等を解除し、電源を切り、身につけずにカバン等に入れてください。また、これらは、時計として使用できません。時計が必要な者は腕時計を持参してください。
- (3) 時計のアラーム機能は必ず解除してください。
- (4) 必要のないものは、カバン等に入れて係員の指示する場所に置いてください。
- (5) 不正行為があると認められた受験者に対しては、直ちに受験を停止させ退出を命じます。

4 その他の注意

- (1) 試験会場の場所、交通所要時間等を試験日前日までに確認しておいてください。ただし、試験当日まで試験室内に立ち入ることはできません。試験日前日の午後からキャンパス内に試験室等の配置図を掲示します。
- (2) 宿泊が必要な者は受験者各自で手配してください。なお、本学売店アクセス（TEL：0887-57-0229）で宿泊施設の情報を提供しています。
- (3) 試験当日に昼食の準備が必要な場合は、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。
- (4) 面接の待ち時間が長くなる可能性があります。書籍等、適宜ご準備ください。

■ 合格発表

1 合格発表日時

各合格発表日の午前10時

2 発表方法

下記へ合格者の受験番号を掲示します。

本学Webサイト 「入試情報」→「大学院入試情報」→「合格発表」
アドレス「https://www.kochi-tech.ac.jp/admission/r_public/」



注1) 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

注2) 合格者の受験番号について、学内掲示は行っておりません。

3 合格通知書等の送付

合格者には、合格通知書および入学手続書類等を本人宛（出願時に登録している住所）に書留速達で郵送します。

■ 入学手続

- (1) 入学手続には、「入学料および学生教育研究災害傷害保険料等の納入」と「入学手続書類の提出」があります。各選抜区分の入学手続期間内に入学料および学生教育研究災害傷害保険料等を納入し、入学手続書類を提出してください。
- (2) 入学手続期間内に入学手続を行わなかった者は、入学を辞退したものとみなします。

1 入学料の納入

- (1) 合格者には入学料振込依頼書を合格通知書とともに送付しますので、入学手続期間内に入学料を納入してください。納入方法はその際に通知します。
- (2) 一度納入された入学料は返還しません。
- (3) 入学料について改訂が行われた場合には、改訂時から新入学料が適用されます。

【入学料】

修士課程 博士後期課程	高知県内在住者 ※1	150,000円
	高知県外在住者 ※2	300,000円

※1 入学を許可された学生または当該学生の配偶者もしくは一親等の親族で、入学手続完了日の6ヶ月前から引き続き高知県内に住所を有することが住民票または住民票と戸籍謄本等で確認できる者（入学手続時に証明書類を提出していただきます。）

※2 高知県内在住者以外の者

注) 本学学士課程から引き続き修士課程に入学する場合または本学卒業生もしくは修了生が長期履修学生として修士課程に入学する場合は入学料は免除されます。

2 学生教育研究災害傷害保険料等の納入（令和5年度入学生適用）

学生教育研究災害傷害保険料および学研災付帯賠償責任保険料（納入時期：入学時）

修士課程 (長期履修プログラム以外)	学生教育研究災害傷害保険料 1,750円	計 2,430円
	学研災付帯賠償責任保険料 680円	
修士課程 (長期履修プログラム)	学生教育研究災害傷害保険料 2,600円	計 3,620円
	学研災付帯賠償責任保険料 1,020円	
博士後期課程 (社会人特別コース以外)	学生教育研究災害傷害保険料 2,600円	計 3,620円
	学研災付帯賠償責任保険料 1,020円	
博士後期課程 (社会人特別コース)	学生教育研究災害傷害保険料 1,000円	計 1,340円
	学研災付帯賠償責任保険料 340円	

入学生には、教育研究活動中の不慮の事故（課外活動を含む）および対人・対物事故（インターンシップ、教育実習を含む）に対する補償制度として、「学生教育研究災害傷害保険」および「学研災付帯賠償責任保険」に加入していただきます。保険料は入学時のみの納入で（長期履修プログラムを除く）、保険対象期間は修士課程（長期履修プログラム以外）は2年間、修士課程（長期履修プログラム）および博士後期課程（社会人特別コース以外）は3年間、博士後期課程（社会人特別コース）は1年間です。詳細については、合格通知書とともに送付します。

3 入学手続書類の提出

合格者には、入学手続書類を合格通知書とともに送付します。入学手続期間内に入学手続書類を提出してください。手続方法はその際に通知しますが、事前に次のものを用意しておいてください。

写 真 1 枚	<ul style="list-style-type: none"> 提出前3ヶ月以内に撮影したもの（カラー・白黒どちらでも可） サイズは縦4cm×横3cm 正面、上半身、無帽で私服用用（学生証として使用するため）で、背景のないもの 裏に受験番号、合格コース、氏名を記入したもの
卒業（修了）証明書	<ul style="list-style-type: none"> 卒業（修了）見込みで受験した方のみ必要です。入学手続期間内に発行されない場合は、発行され次第、別途提出が必要となります。
一種免許状の写し	<ul style="list-style-type: none"> 一種免許状取得見込みで高度教育実践コースを受験した方のみ必要です。入学手続期間内に発行されない場合は、発行され次第、別途提出が必要となります。
在留カードの写し (両 面)	<ul style="list-style-type: none"> 日本国籍を有しない方のみ必要です。

4 その他納入金

校友会費 20,000円(終身会費)

入学生には、入学手続きとともに、高知工科大学校友会へのご入会をお願いしております。校友会は、「学生生活」「課外活動」「入学・卒業」「会員交流」「地域交流」「大学連携」の充実を目指し、入学後から卒業後まで会員の皆様に様々な支援を行っている組織です。校友会の活動については、「高知工科大学校友会」のホームページをご覧ください。詳細については、合格通知書とともにご案内します。

なお、学内進学の方など、本学に在籍したことがあり、すでに校友会費（平成30年4月以前に納入した方については、同窓会費および後援会費）を納められている方は除きます。

5 その他

- (1) 入学手続完了後であっても、入学資格に該当しない事由が生じた場合には、入学できないことがあります。
- (2) 入学手続後、特別の事情により入学を辞退する者は、事前に入試・広報課(TEL：0887-57-2222)に連絡の上、入学辞退届を令和5年3月31日(金)17：00までに必着するように入試・広報課へ提出してください。
- (3) 上記期限までに入学辞退届を提出した者については、入学料を除いた納入金を返還します。

■ 授業料

【授業料および納入時期】

		納入期限	金額	年額
修士課程 (長期履修プログラムを除く) 博士後期課程	1期分授業料	令和5年4月25日まで	267,900円	535,800円
	2期分授業料	令和5年10月25日まで	267,900円	

- (1) 1期分授業料の納入については、入学後に振込依頼書を別途送付いたします。
- (2) 2期分授業料より、入学生が指定する金融機関の預金口座からの口座振替となります。詳細については、後日お知らせいたします。
- (3) 授業料について改訂が行われた場合には、改訂時から新授業料が適用されます。

		納入期限	金額
修士課程 (長期履修プログラム)	科目登録料	履修申請の翌月末日	1単位 33,000円

※科目登録料の納入については、履修申請後に振込依頼書を別途送付いたします。
科目登録料について改訂が行われた場合には、改訂時から新科目登録料が適用されます。

■ ティーチングアシスタント (TA) 制度について (修士課程)

大学院修士課程の学生には、ティーチングアシスタントとして採用されると、学士課程の授業、実験、演習等の教育補助業務に従事することにより給与を受給できる制度があります。

■ 給付奨学金について (博士後期課程)

大学院博士後期課程では、学生が研究に専念できるよう、年間授業料に相当する給付奨学金を支給し経済的な支援を行います。対象者は学業、人物ともに優れ、他の学生の模範となる者として認められる者で、教員とともに研究を行う本学博士後期課程の学生です。ただし、収入の基準は、日本学生支援機構の大学院奨学金第一種奨学金家計基準に準じます。

※令和4年度の制度のため変更になることがあります。

■ 博士の学位授与に係る論文等の公表について

本学では、教育研究成果の電子化およびオープンアクセスの観点から、学位論文等をインターネット上で公表します。

■ 個人情報保護について

本学における学生の個人情報の取扱いについては、以下を参照してください。入学手続き書類に記載された住所や氏名、その他個人情報についても以下に基づき取り扱います。

「学生の個人情報の取扱いについて」

https://www.kochi-tech.ac.jp/disclosure/univ/post_10.html

